

学校通信 耕



河北町立谷地西部小学校
令和5年11月30日 発行
No. 311



学校 HP

教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

「みんながお母さん」～社会総がかりで子供を支援していくために～

校長 白田 敏幸

10月に町主催で行われた学校運営協議会研修会で、本校の保護者の方とお話する機会がありました。河北町のよさについて話をする中で、その方が、「みんながお母さんなんだ。」ということを言われました。最初何のことを言っているのか、すぐには理解できませんでした。その方は、「いろんな人から、『〇人の子供育てて、すごいねえ。』とよく言われるけど、わたしなんて、何もしていない。学校の先生や友達をはじめ、周りの人から育ててもらっているんだ。」このような内容のことを話されました。まさに、「社会総がかりで子供を育てる」ことにつながると感じました。

本校では、日常的に授業参観に来ていただけるように呼び掛けています。その理由として、下記の7点を考えています。

- ①日頃の子供の姿を見ていただける。(学校における課題について共有できる。)
- ②日常的に保護者が来校してくださることで、防犯(不審者)対策につながる。
- ③教職員が、適度な緊張感をもって、授業を行うことができる。
- ④校長が、学校の経営方針を、個別に話す機会をもつことができる。
- ⑤保護者の方からも、「西部小学校を共に創る当事者である」という意識をもっていただける。
- ⑥自分の子供だけでなく、周りの子供の支援に携わっていただける。
- ⑦何より、子供たちが喜ぶ。(高学年になると、嫌がる子供もいますが…。)

※課題は個人情報の保護ですが、それ以上にメリットの方が大きいという認識のもと進めています。

学校ホームページでも紹介していますが、平日に授業参観に来ていただける方が増えてきています。来てくださる方々は、ロクに、「子供の日常の姿が見られてよかった。」と話して下さいます。また、以前とは違い、学校での子供の記録写真販売もなくなっていますので、子供の様子をスマホに収めていく方もたくさんいらっしゃいます。

時代が大きく変化していく中で、学校教育を学校(教職員)だけで進めていくことが困難な場面が多々出てきています。個別最適な学び(一人一人に合った支援や学び方)を実現していくために、保護者の方のご理解とご協力をお願いしたいと考えています。これまでも、西部地区の方々からは、快く多くのご協力を頂戴しております。これからは、さらに、日常的に学校に足を運んでいただき、我々教職員と共に、西部小学校を創っていただけたらと思っています。最初は、子供の様子を見ていただくことから始め、少しずつ子供の側(そば)にそっと寄り添い、困っている子供に言葉や手を差し延べていただけたらと思います。

一緒に、「みんなが、お父さん、お母さん」の谷地西部小学校を目指していきませんか。

【1・2年 秋探し(朝日少年自然の家)】

生活科で育てたサツマイモを使って、朝日少年自然の家に焼きイモ体験に行ってきました。子供たちは、前もって、焼きイモの準備(新聞紙やアルミホイルでイモを包む)をしました。自分たちが育てたイモで焼きイモをするのは最高のようで、「楽しい!」「おいしい!」という声が山の中に響いていました。

また、今回の学校だよりの1面にも書かせていただきましたが、多くの保護者の方が参加してくださいました。本当にありがとうございます。これからも、ご協力よろしくお願いたします。



自分たちで、まきを積み上げました。
崩れないように気をつけて!



イモを蒸し焼きにするために、落ち葉をかぶせます。



焼きあがったイモをおいしくいただきました。



一緒に活動してくださった
保護者の皆様です。



【授業参観・PTA研修会】

17日（金）、今年度3回目の授業参観を実施しました。本校では、教科担任制（教科によって担任以外が授業をする）をとっています。今回の授業参観では、1・2年体育を3・4年担任の村山教諭が、3・4年音楽を5・6年担任の牧野教諭が、5・6年家庭科を1・2年担任の大前教諭が授業を行いました。担任以外が授業をするところを見ていただけるよい機会となりました。授業参観後は、工藤美季氏（terra代表）をお迎えし、「みんなでつくる 谷地西部小学校」と題し、講演をいただいた後、保護者の方全員でワークショップを実施しました。子供に対する言葉のかけ方について演習を通して学びました。



おめでとう!

【令和5年度 寒河江・西村山地区小学校人権書道コンテスト】

優秀賞 6年 宇野 蓮人 「生命」

教育基金で、防犯用看板（右 写真）を購入させていただきました。校舎入口、車止め前に設置しております。ありがとうございました。

購入金額 33,000円（残金386,402円）





トライアングルコーナー

～河北町立谷地西部小学校PTA活動紹介～

【1年 学年行事】 ～親子でピザづくり～

1年生の学年行事は、朝日少年自然の家で「かまど焼きピザ」を体験しました。

小麦粉、イースト菌、塩等を混ぜて生地を作り、焚火の前で発酵させます。30分位すると、生地が膨らみ、おいしいにおいがしてきました。その生地に、子供たちが包丁で切った玉ねぎ、ベーコン等の具をお好みでのせて、自分たちで薪に火をつけ、作った手作りオーブンピザを焼き上げました。子供たちは、ピザをつくる過程を五感全てで感じて楽しんでいるようでした。特に薪の火は、見ていて落ち着くようで、かまどの周りが人気の場所でした。親子で、紅葉の中、楽しく、おいしい体験ができて、素敵な思い出になりました。

(1学年部長 竹屋)



【6年 学年行事】 ～親子旅行 秋田～

6年生の家族で1泊2日の旅行をしました。初日は、秋田ふるさと村で七宝焼き体験をしました。それぞれセンスあふれる素敵な作品に仕上がりました。その後、シュネスハイム金山へ行き、大自然の中、そりすべりやバドミントンをし、部屋ではゲームをして楽しみました。親が助言しなくてもカメムシを退治したり、朝起こし合ったりして立派に過ごしました。

次の日は、そば打ち体験をしました。太さはバラバラでしたが、一生懸命打ったそばは格別でした。

あっという間の2日間でしたが、充実した本当に楽しい時間でした。親子共々一層仲が深まったのではないのでしょうか。中学生になればこうやって集まることも少なくなるかもしれません。少人数だからこそできた学年行事。卒業前に皆さんで素敵な思い出を作れたことに感謝します。(6年学年部長 田宮)

